

もしもバスがなくなったら①

民間のバス事業者の7割、公営バスの9割が赤字経営となっており、ほとんどのバス路線は国、県、市の補助金や負担金により運行を維持しています。しかしながら、利用者の減少傾向は続き、また燃料費の高騰もあり、経営は大変厳しい状況となっています。このまま、利用者の減少が続くとバスの運行はできなくなるかもしれません。

もしも、バスがなくなったらどうなってしまうのでしょうか？自分で自動車を運転できない方は、外出できなくなるかもしれません。学生は通学することができなくなるかもしれません。観光客も訪れることができなくなります。そうすると地域での生活を続けていくことができなくなり、他の地区や市外に転出してしまったり、地域の人が減っていくとコミュニティが形成できなくなり、地域でのお祭り、自治会活動、PTA活動などにも支障を来たしてしまうかもしれません。今の生活、地域での生活を続けていくためにも、バスは必要です。



もしもバスがなくなったら②

名栗方面までは、片道約1時間の運行時間を要します。1時間に1本の運行をするためには最低6台（上りバス2台、下りバス2台プラス道路の渋滞などで1時間以上の運行時間が掛かったときのための車両がそれぞれ1台）必要です。1時間に2本走らせるには、その倍の台数が最低必要です（故障や車検・点検、事故等への対応に予備車両も必要となります）。

収支が悪いことを理由に路線バスが廃止になった場合、収支の悪い路線を引き継ぐような事業者は現実いません。そうすると市で直接運行するしかないということになります。

市が現在と同じ条件（1時間に2本程度の運行）で直接運行すると、バス車両（12台プラス予備車両）、車庫用地、バスの乗務員が最低限必要となります。現在もバスが満杯の時間帯があるので、全ての車両ではなくても大型バスも必要となり、乗務員は大型2種免許保有者となります。大型2種免許保有者は現在、大変少なく、どのバス事業者も乗務員の確保が難しい状況となっています。

市が直接バスを運行する場合、バス車両や車庫用地は準備できても乗務員が確保できないということはありません。

乗務員が確保できないと、1時間に1本、又は数時間に1本しか運行できなくなり、今と同じ生活はできなくなるかもしれません。

（他社が引き継いだ場合でも、新たにバス車両を用意して、乗務員も確保することは必要となります。）



もしもバスがなくなったら③

本市は、これから本格的な超高齢社会に突入します。高齢者になり自ら運転することができなくなったら、移動はどうしますか？もしもバスがなくなると、復活することはまずありません。

本市を運行するバス会社も3社とも経営は大変厳しい状況とのことです。

バスを維持確保するためには、利用するしかありません。今だけでなく将来を見据えて、維持確保のため積極的にご利用ください。

